

鹿児島宮之城工場絶縁体工場新設

(スパークプラグ一貫生産体制の構築について)

当社は、このたびかねてより計画中でありました鹿児島宮之城工場でのスパークプラグ一貫生産体制の構築を決定いたしましたので、ここにその概要をお知らせします。

記

1. 経緯

当社は、主力製品の一つであるスパークプラグを国内では愛知県の本社工場・小牧工場と鹿児島県の宮之城工場の3工場生産し、海外ではブラジル・米国・フランスをはじめ世界9ヶ国で生産しており、現在では世界シェアの25%以上を占める世界でもトップクラスのプラグメーカーです。

鹿児島宮之城工場は、昭和49年4月に国内3番目の工場として操業して以来、順調に業容を拡大し現在ではスパークプラグ完成品を月産2,200万個生産しています。しかし、当工場は、スパークプラグの心臓部である絶縁体を、本社工場と小牧工場から供給を受けて、金具の生産及びスパークプラグの組立を行う工場、プラグの一貫生産体制への移行はかねてからの懸案事項でした。

このたび、既存工場の敷地内に、待望の絶縁体工場を新設することになり、この工場が完成しますと鹿児島宮之城工場ではスパークプラグの一貫生産体制がスタートすることとなります。これによりリスク管理の一環として絶縁体を含めた生産工場の分散化が実現するとともに、生産効率の一層の向上が期待でき、今後の需要増に対しても余裕裡に因應していくことが出来ると確信しています。

2. 新設工場の概要

- (1) 工場名： 日本特殊陶業株式会社 鹿児島宮之城工場絶縁体工場
- (2) 所在地： 鹿児島県薩摩郡宮之城町田原2238番地1
- (3) 用地： 既存工場敷地内
- (4) 建物面積： 7,000 m²(延べ)
- (5) 建設着工予定： 平成10年4月
- (6) 操業開始予定： 平成11年7月
- (7) 雇用予定数： 当面40名程度
- (8) 事業内容： スパークプラグ用絶縁体の製造
- (9) 生産計画： 当面400万個/月、将来倍増の予定(絶縁体ベース)
- (10) 投資予定額： 当面約45億円
- (11) 絶縁体工場完成後の鹿児島宮之城工場の状況
 - 敷地面積： 207,800 m²
 - 建物面積： 28,000 m²(延べ)
 - 従業員数： 515名程度
 - 生産計画： 当面2,400万個/月の予定(完成品ベース)

以上